



写真-1 共同宣言の解説動画(YouTube)

共同宣言のこれから…

2025年1月15日、「大阪湾岸に生物多様性豊かな干潟や湿地を取り戻すための共同宣言」を環境6団体で正式発表した。この時点で賛同団体は46団体になっていた。

その後、解説動画作成に着手し、2月22日YouTubeで公開。資料は全部使用許可を得、写真も私たちが撮影したものだけを使用した。少し長くなったので、短縮版も制作してもらい、公開している。

今後、3月末までにエントリー済みの賛同団体名も加えたチラシを作り、この共同宣言を、行政・一般企業への啓発活動や外圧形成へとすすめていけたらと考えている。

※共同宣言の情報は
(各団体名なども)
全部こちらにまとめて
あります。



湾岸各市町村へアクションを…

大阪湾岸にネイチャーポジティブを広げていくためには、私たち自身が大阪湾岸の環境の状態を知らないとならない。私たちも一昨年より調査に行っている新島フェニックスのほかに、大阪湾のどこに自然再興可能な場所があるだろうか。1月末、その候補地を、野鳥の会の納家大阪支部長に案内してもらった。また別日には堺7-3区「共生の森」への野鳥調査にも同行。大阪湾岸に並ぶ発

電・流通などの巨大施設の広い敷地のほごまに、かろうじてまだ残っている野鳥たちの居場所は、波に削られたり開発されたりと、徐々にその姿を変えている。ここに干潟や湿地を取り戻すためにはどのようなアクションをすべきなのか。まずは岸和田にある貯木場の埋め立てのアセスメントに対して意見書を大阪港湾局(泉州港湾海岸部)に提出した。

今後、取り組まなくてはならない対象の多さ・大きさに怯む気持ちも起こるが、野鳥の会、生物や土木の専門家、地元市民とともに取り組んでいきたい。

一般市民への普及啓発も…

2023年度は図書館でのミニ展示4回ときしわだ自然資料館・万博公園の学習館・和歌山県立自然博物館での大規模な写真展を開催(計217日間、来場者数10万人超)。2024年度は大阪市立図書館3館でのミニ展示を開催(計3か月、来館者数推定4万人超)。また、大規模な写真イベント「みんなで守ろう!海わたる鳥」展を、天王寺動物園内のホールで、初めて大阪湾岸の自然保護団体7団体合同で開催した(8日間、入場者約3000人)。

2025年は、5月10日から18日まで同動物園でこのイベント「みんなで守ろう!海わたる鳥」の第2回目を開催する。また大阪市立図書館の展示は2024年度後半からは海の



写真-2 埋立計画のある岸和田貯木場



写真-3 2025年5月天王寺動物園イベントの予告



写真-4 大阪市立港図書館でのミニ展示風景(2025年1月)



写真-5 SDGs万博ガイドブック

観察会とのコラボで「大阪湾岸の生物多様性」をテーマに続けている。文章より写真、写真より立体の訴える力は強く、コアジサシ営業保護のために購入したデコイ(保護地区の誘致に使う等身大の人形)は、この展示の花形アイテムとなって活躍。図書館では数多い来館者のごく一部であっても、このミニ展示を心にとめてくれる人がいるよう祈る気持ちで、今年度も大阪湾岸の生物多様性をテーマに続けたい。

内外の市民団体とのネットワークを…

当グループは、NPO地域づくり工房の「市民からの環境アセスメント提案」の呼びかけで、地球環境基金の助成での活動を2020年より3年続けてきた。2023年からは、同じテーマ枠で環境問題部門の調査研究を担っていたAMネットの「SDGs万博市民アクション」という活動の下で、夢洲の活動を続けている。

この市民アクションは、万博をSDGsの観点からのチェックをしたい団体が集まっており、分野は多岐にわたっていて、当協会は「自然再生・生物多様性分科会」として、行政及び博覧会協会への要望の経緯を発信している。

※SDGs市民万博アクションについてはこちらをご覧ください。



2022年5月の監査請求棄却から2年以上、環境配慮への要望を環境5団体で続けているが、万博開幕直前の結果としてゼロ回答で終わった。現在は万博のレガシーとしてエンタメ施設計画が発表され、大阪の行政はますますネイチャーポジティブの理念から乖離していつている。

共同宣言を発信することで大阪だけでなく、全国、さらには国際的な協力も得られる可能性が高くなってきた。2025年万博で「OSAKA」の知名度はアップしている。未来の大阪の自

然環境のためには、大阪の市民ネットワークは欠かすことができないものであり、さらに、全国・海外の市民団体ともどどんつながり、応援しあえる関係づくりを広げたいと思っている。

この指とまれ!

夢洲の現地調査は当分ありませんが、大阪湾岸の自然環境保護活動として、これからも展開していきます。行政への対応、市民ネットワークの形成、現代社会にマッチした発信など、活動の可能性は無限大。SNS発信や翻訳、展示の工作づくりなど、私たちの工夫次第でいろいろなことができます。展示の手伝いやロビー活動などの応援部隊として、一緒に楽しく行動したい人、大阪湾岸のフィールドなら私の散歩コース!という地元情報も大歓迎!新時代の環境保護活動、一緒に作っていきませんか?

大阪湾岸に自然いっぱい環境が欲しい!という夢追い人、募集中です。お気軽に声をかけてください。